

# 2019年童謡文化賞

2019年(第18回)童謡文化賞の贈呈者を、下記の通りに決めました。なお、賞の贈呈式は2019年7月1日(月)、東京ガーデンパレスにて午後6時より開催、終了後祝賀パーティーを行います。

## 童謡文化賞

(賞状、盾及び賞金30万円)

### 日本コロムビア株式会社

「童謡百年の歩み」～メディアの変容と子どもの文化～

#### 贈呈理由

日本コロムビア株式会社は明治43年日本蓄音器商会として創設され、大正5年頃よりはやくもこどもの音楽に視点を定め詩人・作曲家・歌手と手を携え数多くの名作を世に送り童謡運動の興隆に深く関わってきた。

以来今日まですぐれた企画制作によって生まれた数々の音源は、これからの日本のこどもの音楽文化伝承を豊かに支えるものと確信する。

この度の「童謡百年の歩み」(周東美材監修)に見られたさまざまな視点からのアプローチはそれを具現したものとして心強い。

日本コロムビア株式会社の長年にわたる「童謡・こどもの歌」に対する力強い支えと情熱に対し童謡文化賞を贈呈する。

(早川史郎 記)

## 受賞者紹介

日本コロムビア株式会社は1910年10月1日蓄音器の製造販売会社として事業を開始し、以来日本初のプレスレコード及びLPレコードを発売し1982年にはCDを世界に先駆け発売した。録音技術面でもいち早くテープ録音を開始、その後ステレオ録音にも対応したスタジオを創設し独自で開発したPCM録音技術は世界でも高い評価を得た。また業界初の着信うたフルサイトを携帯3キャリアで開始する等、日本の音楽の歴史を築いてきた我が国最初のレコード会社である。

高いシェアを誇る演歌・歌謡曲をはじめとしてJ-POP、アニメ、教育、邦楽、ジャズ、クラシックと幅広いジャンルにわたって作品を制作・リリースしている。その保有する楽曲数は16万曲以上に及びそのブランドは広く日本に知れわたっている。

特に教育ジャンルは創立以来手がけてきた領域で、日本初の子どもの用レコードとして〈桃太郎レコード〉を発売。また「赤い鳥」「金の船・金の星」の創刊以来、多数創作された〈童謡〉を録音。レコード童謡の一時代を築き、多くの作詞者、作曲家、童謡歌手を排出していくことになった。当時文芸部の一部であった教育課が1959年に学芸部として独立。教育ジャンルの企画制作は現在はエデュケーショナル・ビジネスユニットに引き継がれ今なお多くの家庭向け、教育現場向けの教材ソフトを生み出している。

2020年10月に110周年を迎えようとしている日本コロムビア株式会社は自社アーティストの発掘・育成・マネジメントにも注力しており、グッズ、ライブ及びコンサート事業等の360度ビジネスなど地形領域を拡大する展開を進めている。

## 童謡文化賞

童謡文化賞は、童謡の創造と振興を図る一般社団法人日本童謡協会が、「教育と文化を通じて人づくり」を企業理念とする東京書籍株式会社の協賛を得て創設、2002年からスタートした賞です。日本の貴重な文化所産である「童謡」の普及発展に寄与する、個人もしくは団体の優れた業績を讃えて、贈賞するものです。

### 〈2019年童謡文化賞審査委員会〉

一般社団法人日本童謡協会会長

湯山 昭

一般社団法人日本童謡協会副会長

宮中雲子

一般社団法人日本童謡協会常任理事

佐藤雅子

一般社団法人日本童謡協会常任理事

早川史郎

声楽家

眞理ヨシコ

東京書籍株式会社代表取締役社長

千石雅仁